

はまなす医療療育センター煙突改修工事

設 計 図

設計者：株式会社 杜設計事務所

図面リスト

A-01	改修特記仕様書（その1）
A-02	改修特記仕様書（その2）
A-03	建築概要・案内図・配置図
A-04	煙突詳細図
A-05	煙突改修詳細図
A-06	機械室平面図・屋根伏図・仮設計画図
A-07	煙突アスベスト除去工法（参考図）
A-08	全体仮設計画図
M-01	機械設備図

はまなす医療療育センター煙突

改修工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

青森県八戸市大字大久保字大塚 地内

2. 敷地面積

18,846.44㎡

3. 工事種目

(1) 児童福祉施設等 鉄筋コンクリート造 平屋建て

改修 1棟

煙突改修工事 H=15.0m Φ714mm

(2) 機械設備 (上記改修に伴う工事)

一式

4. 指定部分

・有

○無

対象部分 (指定部分工期 年 月 日)

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記のとおりとする。

はまなす医療療育センター機械室内の煙突の改修

II. 建築改修工事仕様

1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 令和7年版 (以下「改修標準仕様書」という。) 及び「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 令和 7年版 (以下「標準仕様書」という。) によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○建築工事標準詳細図 (令和 4年版) (以下「標準詳細図」という。)
・公共木造建築工事標準仕様書 (令和 7年版)
・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)

2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は (/) 図、機械設備工事の特記仕様書は (/) 図による。

3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、◎ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) ☐印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準 (特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準) を満たすものを示す。

2 仮設工事

○ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速 (Vo= 34 m/s)
地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ)
○積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ()
八戸市規則 85cm以上

○ 施工条件

・施工順序 (1.3.5) [1.3.5]
(※現場説明書による ・図示)
○工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所
○図示 (1.4.1) [1.4.1]

○ 環境への配慮

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く) が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
(1.4.2) [1.4.2]

○ 材料の品質等

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑤の事項を満たすものとし、その証明となる資料 (外部機関が発行する証明書の手し等) を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル (タイル工食用)、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構 (手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鉄鉄製ふた
(1.5.1)

○ 石綿含有建材の調査

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
賃与資料 (・アスベスト関係資料調査票 ○既存図面 ○ 既存調査結果票)
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トモロライト
分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3、 JIS A 1481-4または JIS A 1481-5
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示による ・

・埋設配管・配線および鉄筋調査

2 仮設工事

・騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]
○ 足場等 [2.2.1] [表 2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」について (厚生労働省 令和5年12月26日) の「 (別紙) 手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (1) 手すり設置方式又は (2) 手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
○設置する (設置範囲 ○工事に必要な範囲 ○図示による ・)
・設置しない

2 仮設工事

○ 既存部分の養生
・ 仮設間仕切り

養生シート
○設置する (設置範囲 ・工事に必要な範囲 ○図示による ・)
・設置しない
内部足場
○設置する (※脚立、足場板等 ・)
・設置しない
○材料、撤去材等の運搬方法
種別 ○A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種)
C種: 利用可能なエレベーター (・図示による ・)
D種: 利用可能な階段 (・図示による ・)
養生方法等 [2.3.1]
○既存部分
養生方法 (※ビニルシート、合板 ・)
○既存家具、既存設備等
養生方法 (※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法 (・ビニルシート等 ・)
保管場所 (・図示による ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2.3.2] [表 2.3.1]
・図示による
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ (厚さmm)	塗装	充填
・A種	・せっこうボード 種類 (・) 厚さ (・ mm ※9.5mm) ・合板	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ mm
・B種	材種 (・) 厚さ (・ mm ※9mm) ・		
※C種	防護シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し	・ 場所
・	・	・片面	・ 図示による

4 外壁改修工事 (共通事項)

○ 施工数量調査 [1.6.2、3]
調査範囲 [1.6.2、3]
○外壁改修範囲: (煙突: 機械室バラベツトより上部)
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規仕上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書 (提出部数 ・2部 ・)

4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

○ 既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整 [4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上り面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上り面全体 ・図示による	
・塗膜はく離削工法	※既存仕上り面全体 ・図示による	
○水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離削工法の処理範囲以外の既存仕上り面全面 ○図示による	

※下地調整塗材 ・ ・ ・劣化部除去部 [4.5.2]
○ポリマーセメントモルタル

○ 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類 [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]
・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け	・
	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹散し ・凸部処理	・吹付け	・	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹散し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

○複層仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材OE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※799系 ・ 外観 ※つやあり・999ツツ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・可とう形複層塗材OE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※799系 ・ 外観 ※つやあり・999ツツ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材OE ・防水型複層塗材RE ○防水形複層塗材E	・凸部処理 ○凹凸状	○吹付け	樹脂 ※799系 ・ 外観 ※つやあり・999ツツ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・可とう形改修用仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・ ・耐候形2種 ・ ・耐候形3種	・
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・ 溶媒 ・		
・可とう形改修塗材OE	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・マステック塗材塗り

・外壁用塗膜防水材塗り

改修標準仕様書4.6.2 による [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]
仕上げの形状 [4.1.5] [4.7.2.3] [表4.7.1]
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地準動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修) による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。
吹付け工法の模様材の種類
・ (・所要量 (kg/㎡))
外壁用仕上塗料の種類
・ (・所要量 (kg/㎡))
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等改修) による。

株式会社 杜設計事務所 一級建築士事務所 青森県知事登録A1-674 管理建築士 工藤裕幸 (大臣登録 275117)
八戸市石堂2丁目2-2-2
TEL 0178 (20) 5586 FAX 0178 (20) 5632

承認 設計 担当

縮尺
A1: -
A3: -
設計年月日
R07.11

工事名称 はまなす医療療育センター煙突改修工事

図面名称 改修特記仕様書 (その1)

A-01

No.

7

塗装改修工事

○材料

○下地調整

○素地ごしらえ

○錆止め塗料塗り

○塗装

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：）

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（箇所）
○行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種類 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はR種 ・	
鉄鋼面	※R種	
亜鉛めっき鋼面	※R種	
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※R種・RA種	
モルタル面及び せっこうプラスター面	※R種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※R種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※R種	

(7.3.2～7)

下地面等		種別	
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種	・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種	・A種・B種
鉄鋼面（DP）		※B種	・A種・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外）	・A種	・B種
	（鋼製建具等）	※B種	
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種	・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種	・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種	・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種	・A種
せっこうボード面及びその他ボード面		※B種	・A種

錆止め塗料塗りの種別 (7.4.2、3)

素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類		
鉄鋼面	SOP （工程の種類は表7.4.3）	塗替え	A種	※C種	
		新規見え抛り	A種	※A種	
		新規見え隠れ	A種	※B種	
		塗替え	※B種・A種	※C種	
	EP-G （工程の種類は表7.4.3）	新規見え抛り	※B種・A種	※A種	
		新規見え隠れ	※B種・A種	※B種	
		DP （工程の種類は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(イ)(b) による。 7.4.2(1)(イ)(a) による。	・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
			新規		・A種
	亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種類は表7.4.5）	塗替え	※A種・B種	※C種
			新鋼製建具等	※A種・B種	※A種
規 その他			※B種	※B種	
塗替え			C種	※C種	
EP-G （工程の種類は表7.4.5）		新鋼製建具等	C種	※A種	
		規 その他	C種	※B種	
		DP （工程の種類は表7.4.6）	塗替え	B種	
			新規	B種	

(7.5.2～7.12.2)

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
○合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗装の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種	※B種
	・クリヤラッカー塗り（QL）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類：）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類：）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種・A種	※B種・A種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面		
	上塗り等級（）級	・	
	亜鉛めっき鋼面	・	
	上塗り等級（）級	・	
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※B種	※B種・A種
	屋内の木部	※B種	※A種
○合成樹脂エマルションベイント塗り（EP-G） ・合成樹脂エマルション標準塗料塗り（EP-T） ・ウレタン樹脂ワニス塗り（UG） ・ビグメントステイン塗り ・木材保護塗料塗り（WP）	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種・B種
	コンクリート面（EP）	※B種	※B種・A種
	（EP-T）	※B種	・A種・B種
	（UG）	※B種	※B種・A種
	（WP）	※B種・A種	※B種・A種

○石綿含有建材の除去工事

つや有合成樹脂エマルションベイント塗り（ウレタン面、珪砂面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションベイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り [G]
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2、3）
※RB種・RA種・RC種

工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m ²)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りの工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

○石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 （各施工箇所ごと）
・測定 1 ・測定 2 ○測定 3 ○測定 4	処理作業前		処理作業室内	・計 点
			調査対象室外部の付近	・計 点
			処理作業室内	・計 2 点
			セキュリティゾーン入口	・計 2 点
○測定 5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計 1 点
○測定 6			処理作業室内 ・施工区画周辺 ○散地境界	・計 4 点
・測定 7	処理作業後 （シート養生中）		処理作業室内	・計 点
○測定 8	処理作業後 （シート撤去後 1週間以降）		処理作業室内	・計 1 点
○測定 9				調査対象室外部の付近

測定方法
○自動測定器による測定

測定名称	測定方法		
○測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		

○JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
○測定 4 ○測定 5 ・測定 ・測定 6 ・測定	25	5	30
・測定	47	10	120
・測定	47	10	240

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3（2）（7）による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
○図示による
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
○埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲
・図示による
隔離養生（負担不要）方法
・図示による
足場
・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

○石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）
除去対象範囲
○図示による
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
・図示による
除去工法
・養生方法
・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による

株式会社 杜設計事務所

一級建築士事務所 青森県知事登録A1-674
管理建築士 工藤裕幸（大臣登録 275117）

八戸市石堂2丁目22-22
TEL 0178 (20) 5586 FAX 0178 (20) 5632

承認

設計

担当

縮尺
A1：－
A3：－
設計年月日
R07.11

工事名称

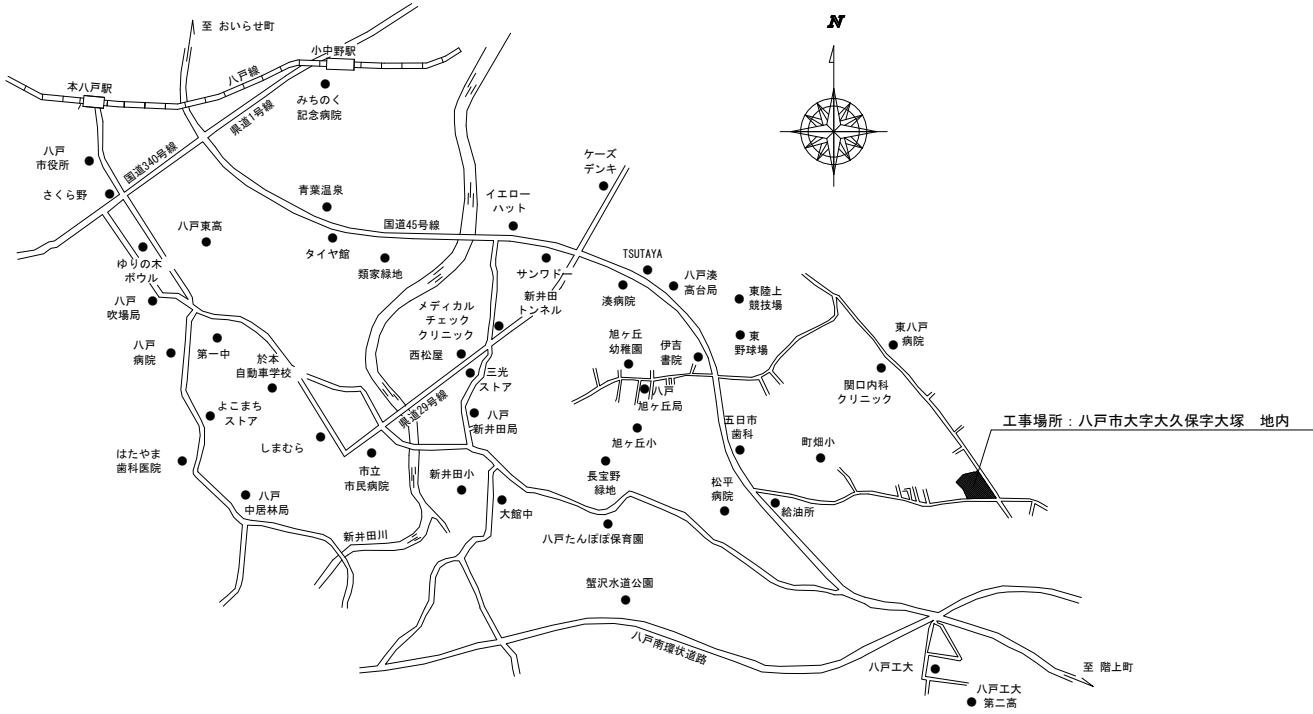
はまなす医療療育センター煙突改修工事

図面名称

改修特記仕様書（その2）

A-02

No.

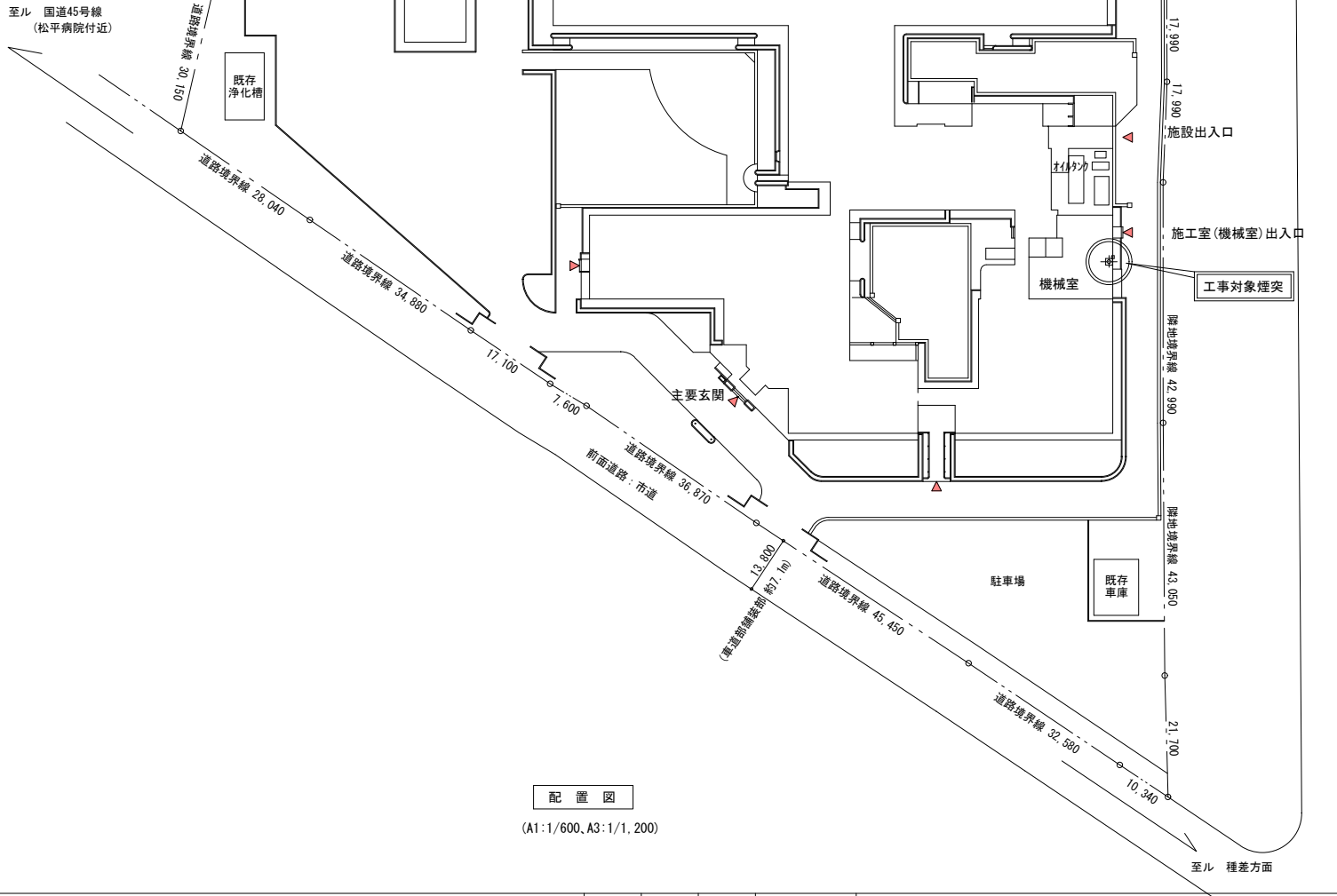


案内図

【施設概要】

工事場所	青森県八戸市大字大久保字大塚17-729
用途	児童福祉字度施設等
都市計画区域	区域内 市街化調整区域
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし (法22条区域)
構造・規模	鉄筋コンクリート造 平屋建て
延床面積	6,140.65㎡
竣工年月	平成元年5月(1989年)
工事概要	煙突改修工事(アスベスト除去、ライニング材新設)

至ル 国道45号線
(松平病院付近)



配置図

(A1:1/600, A3:1/1, 200)



株式会社

杜設計事務所

八戸市石堂2丁目22-22
TEL 0178 (20) 5586 FAX 0178 (20) 5632

一級建築士事務所 青森県知事登録A1-674
管理建築士 工藤裕幸 (大臣登録 275117)

承認 設計 担当

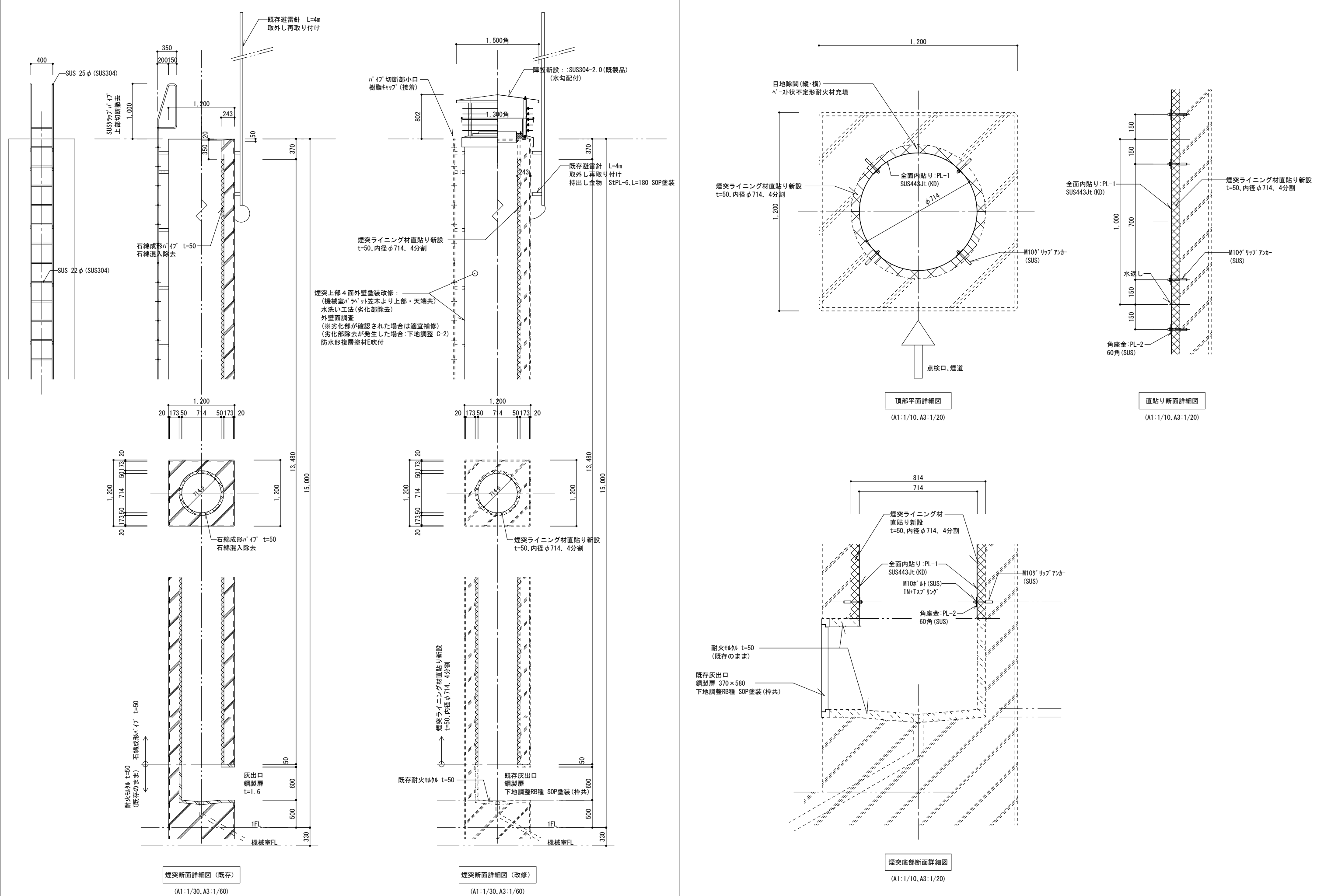
縮尺
A1: 1/600
A3: 1/1,200
設計年月日
R07.11

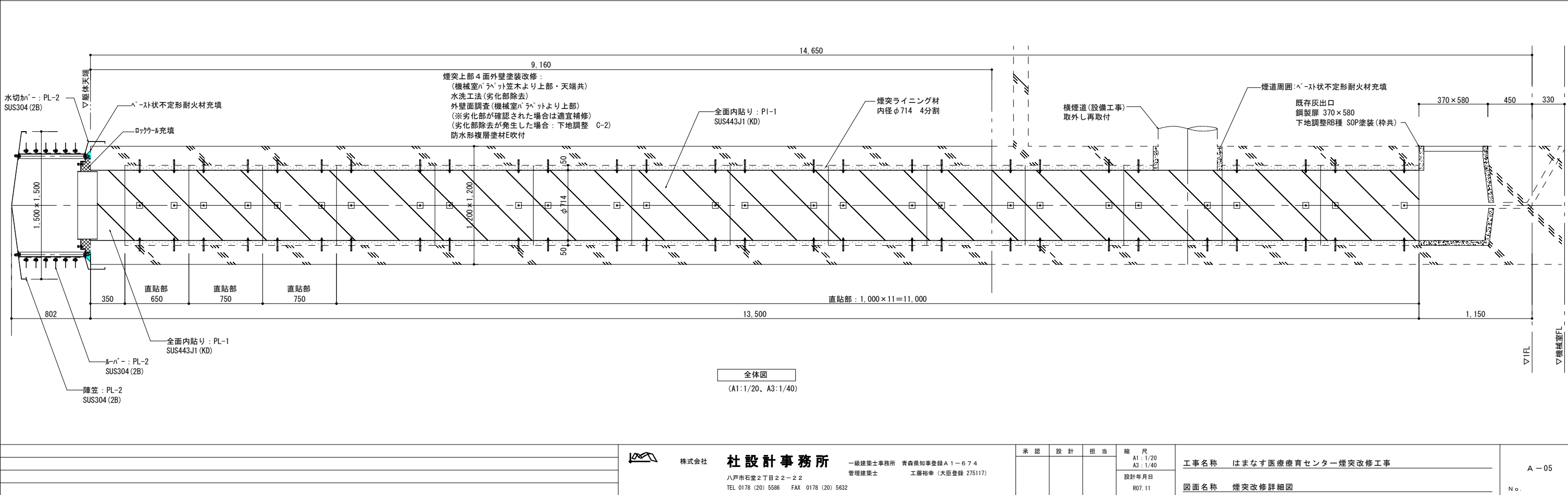
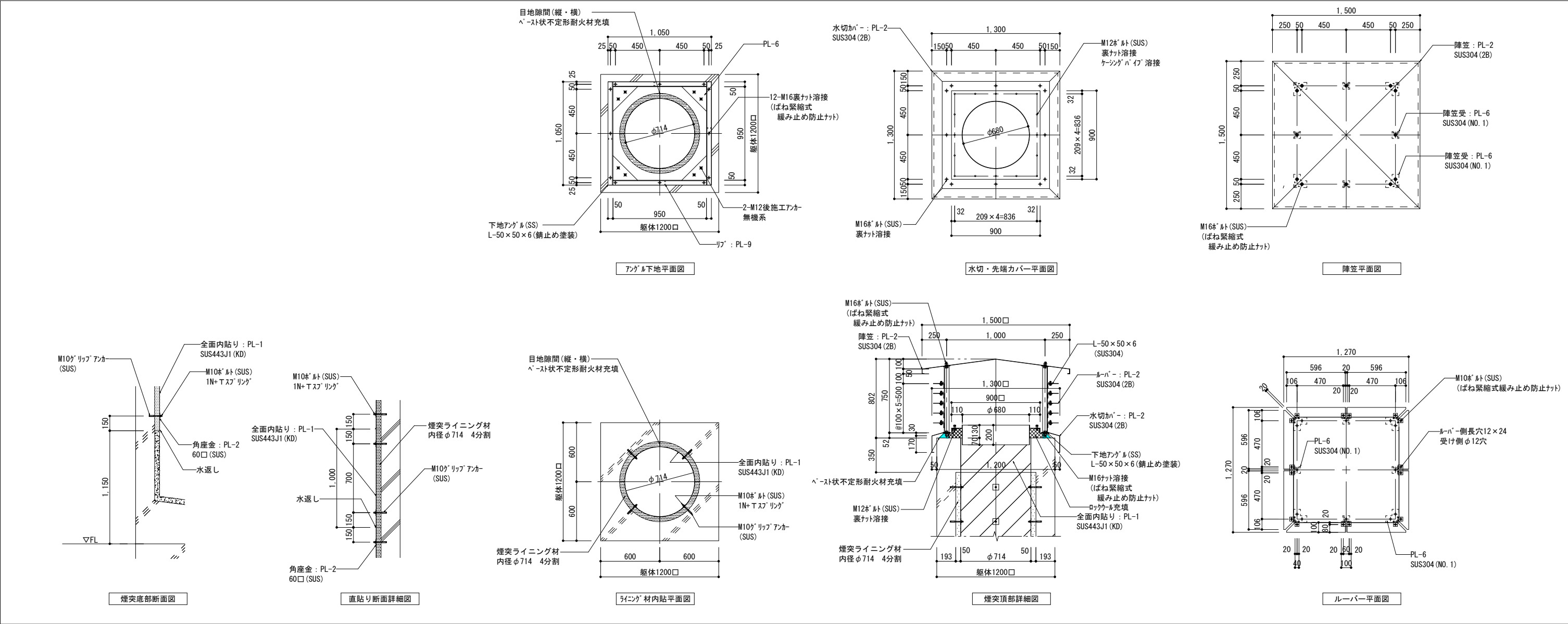
工事名称 はまなす医療療育センター煙突改修工事

図面名称 建築概要・案内図・配置図

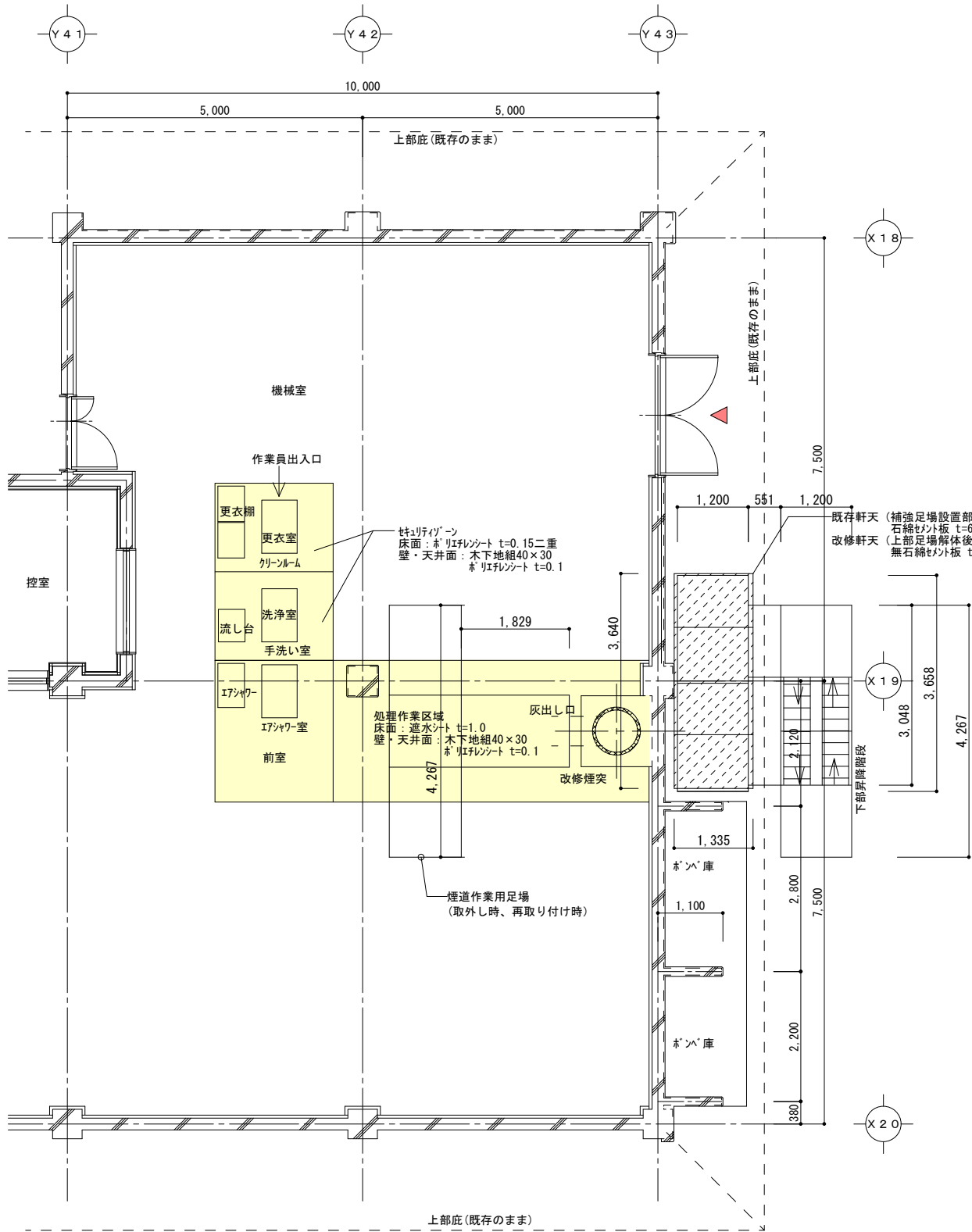
A-03

No.



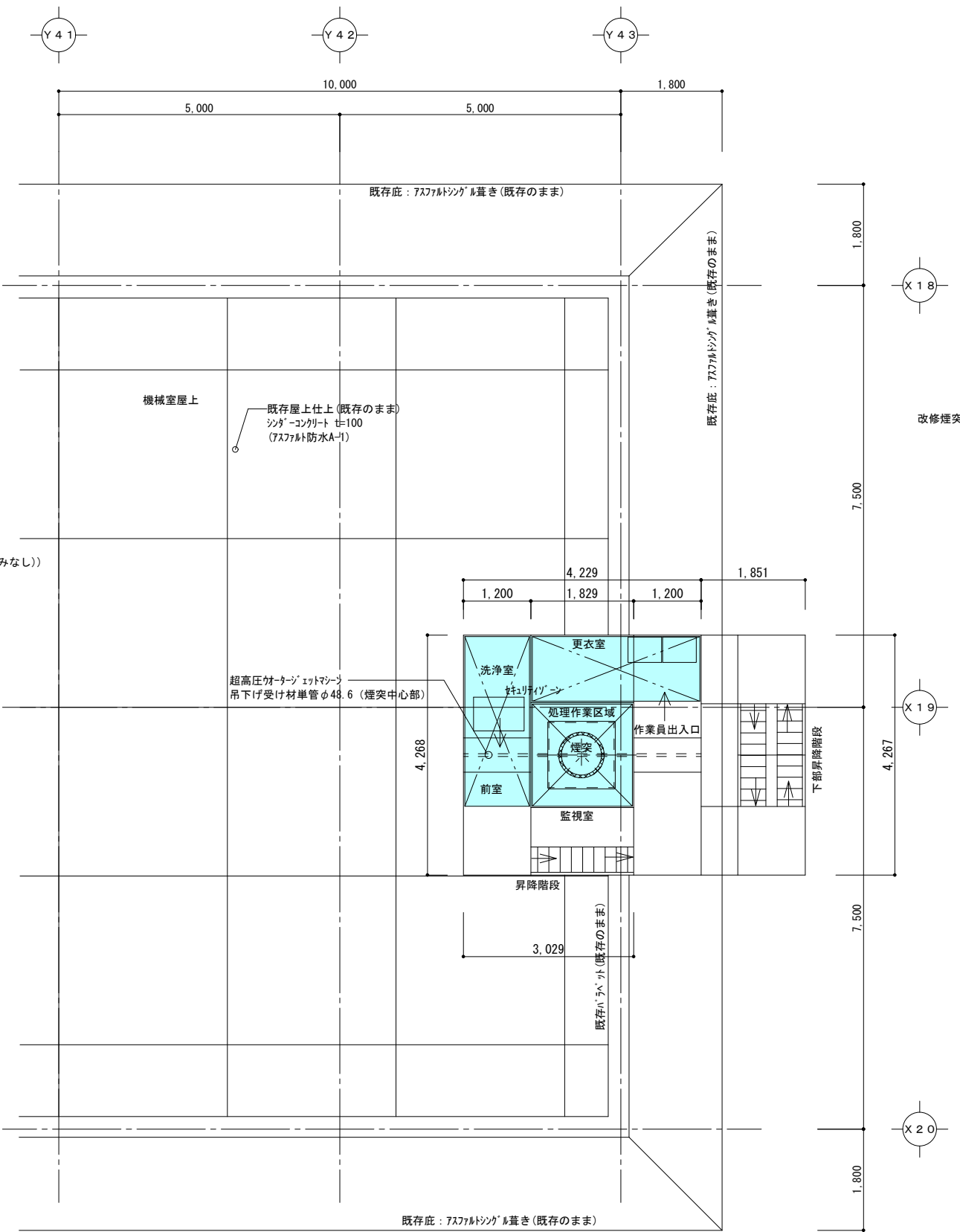


<div><div></div><div>株式会社</div><div>杜設計事務所</div><div>一級建築士事務所 青森県知事登録A1-674 八戸市石堂2丁目2-2-2 TEL 0178 (20) 5586 FAX 0178 (20) 5632</div></div>				承認	設計	担当	縮尺 A1: 1/20 A3: 1/40 設計年月日 R07.11	工事名称 はまなす医療療育センター煙突改修工事	A-05 No.
								図面名称 煙突改修詳細図	



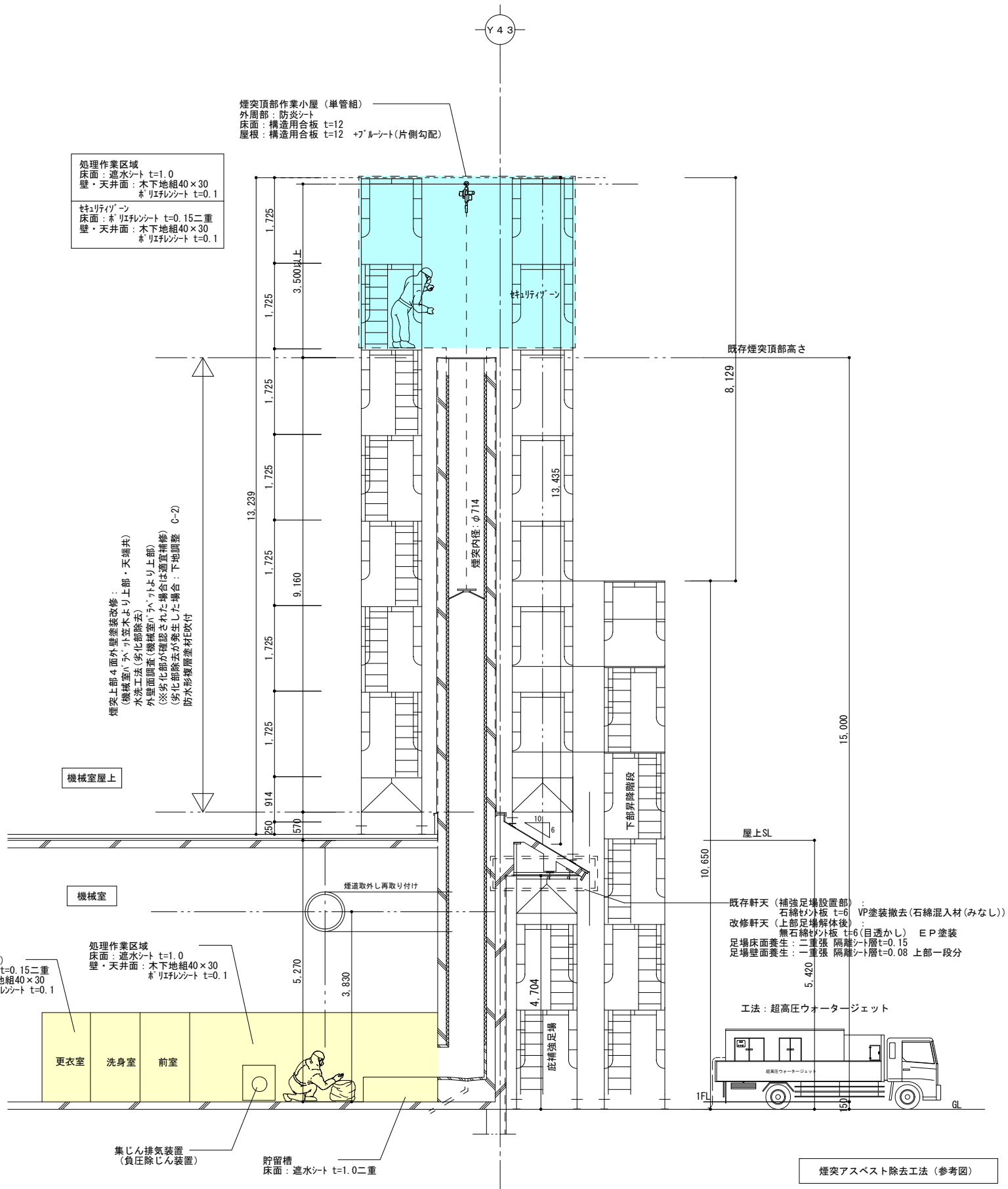
機械室平面図
仮設計画図

機械室 既存内部仕上表	
部 位	仕 上 げ
天 井	ｸﾞﾗｽｸｰﾙﾎｰﾄﾞ t=50
壁	ｸﾞﾗｽｸｰﾙﾎｰﾄﾞ t=50
巾 木	ﾓﾙﾌﾙ金ｺﾞﾚ
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し(金ｺﾞﾚ)仕上げ



機械室屋根伏図
煙突頂部作業区域 仮設計画図

既存 外部仕上表	
部 位	仕 上 げ
煙 突	複層仕上げ塗材 (吹付ﾀｲﾙ)
屋上平場	ｼﾝｸﾞｰｺﾝｸﾘｰﾄ t=100 (ｱｽﾌｧﾙﾄ防水A-1)
庇	ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺き



- 煙突改修工事手順
- 01：直接仮設工事
- ① 仮設計画図を参考に、階段付き枠組み足場を設置する。
- ② 作業頂部に作業用足場をつくり、手すりを設置する。
- 02：煙突改修前 事前工事
- ① 既存タラップ切断改修、避雷針取外し、機械室内横引き煙道取外し
- 03：石綿含有断熱材除去工事
- ① 煙突上部に、作業区域をつくる。ポリエチレンシートにて飛散防止養生、目張り養生をし、クリーンルーム、高性能真空掃除機等を設置する。
- 煙突下部に、作業区域をつくる。ポリエチレンシートにて飛散防止養生、目張り養生をし、クリーンルーム、負圧除じん装置、高性能真空掃除機、エアシャワーを設置する。
- ② 超高压水発生ポンプの車輪を煙突近隣区域へセットしロータリー無人煙突石綿除去装置を煙突頂部隔離 上部に吊下げ設置する。
- ③ 横引煙道及びカバーを取り外し飛散防止目張りをする。
- ④ 作業区域を隔離養生し、設置した石綿除去装置の垂直を確認し作業入る。
- ⑤ 超高压水(参考数値：20L/分・100Pa以上)、を噴射し、石綿管を除去しながら作業を進める。
- ⑥ 煙突底部より回収した汚泥廃水等は、一旦貯留して吸水性樹脂等による凝固処理し2重袋詰め・密封し廃棄処分とする。
- ※ 特記仕様書に基づき石綿粉じん濃度測定を行う。
- 04：煙突復旧工事
- ① 製品搬入・煙突材料G Lに仮置き
- ② 煙突ライニング材料、S U S金物等吊り上げ、挿入、吊り降ろし
- ③ 煙突材料の直貼り作業
- ④ 直貼り材料のジョイント部の隙間にベスト状不定形耐火材を充填
- ⑤ 水切りカバー、先端カバー、陣笠を取付け
- ⑥ 避雷針再取付、横引き煙道再取付
- 05：直接仮設工事
- ① 外部足場解体撤去

